

## 新たな区政創生（案）に関する市民意見募集の結果

A：新たな区政創生（案）に反映するもの（48件）

B：新たな区政創生（案）に記載済又は趣旨に含まれ、賛同いただいているもの（153件）

C：今後取組の推進に際して参考とするもの（53件）

## 1 策定に向けて（計3件）

No.	御意見の内容	件数	対応
1	市民の意見を取り入れながら、より良い区役所にしようとしていることが分かった。	1	B
2	区役所を知らない人が多いと思うので、積極的に発信していくことは素晴らしいと思う。	1	B
3	変わり続けることは大事であり、偏りを持たず、公務に必要な市民への平等性を重視し、区政創生を積極的に進めてほしい。	1	B

## 2 目標とする4つの区役所像（計28件）

No.	御意見の内容	件数	対応
1	ICTの活用に当たっては、適切な個人情報の保護に留意してほしい。	5	A
2	「まちづくり」という語の定義に関する説明が欲しい。	1	A
3	多様なニーズをしっかりと受け止め、解決に向けて対応してほしい。	3	B
4	目指すべき今後の区役所像が具体的に記載されているので、この区役所像を目指して、区政改革に取り組んでほしい。	2	B
5	区役所をあまり知らなかったが、地域の活性化に力を入れていることを知った。	2	B
6	子どもや子育て世代に優しい区役所として施策を進めてほしい。	2	B
7	おもてなしの心あふれる区役所を目指している点に共感した。居心地の良い区役所は地域住民にとって望ましい。	2	B
8	目標に対する進捗状況を常に点検し、推進に遅れが出ないように留意してほしい。	1	B
9	区民が主役のまちづくりの総合的な推進・調整役としての区役所、区民の目線に立った区役所を期待している。	1	B
10	区民が主役のまちづくりを推進するための区役所職員のレベルアップと地域の人材の活性化も進めてほしい。	1	B
11	人との繋がりが切れないようなまちづくりを自然と行えるような支援や企画づくりが必要であると思う。	1	B
12	区役所が住民の生活に関わる諸問題、要望等を解決する一番重要な部署であり、本当の「市政をリードする区役所」を作してほしい。	1	B

13	本庁との連携が足りないように感じる。まちづくり関連部局と区役所担当者との調整会議を定例的に行うなど、目標の実現に向けた具体的な行動を進めてほしい。	1	B
14	市政をリードする区役所について、市や府との連携も大事だが、あくまで区役所は市民に一番近い行政としての立場を取ってほしい。	1	B
15	市政をリードする区役所を実現するには、職員の量と質が必要である。区役所しかできないことに特化し、それ以外は本庁で集中的に管理することがあっても良いのでは。	1	B
16	災害時の対応など、縦割り行政の中での区政の在り方を考えるべきでは。	1	B
17	まちづくりの拠点として機能・役割を高めるため、業務の効率化を図ることで人的資源等を生み出し、まちづくりに更にシフトすることに賛成である。	1	B
18	好奇心を満たしてくれる、イベントや習い事等がある区役所にしてほしい。	1	B

### 3 区役所像 1 「区民が主役のまちづくりの総合的な推進・調整役としての区役所」に係る主な取組（計45件）

No.	御意見の内容	件数	対応
1	大学が多い京都の特徴を生かして、大学生と連携した企画に、より一層取り組んでほしい。	10	A
2	地域に根差した活動や社会貢献を意識した会社なども増えており、区の発展のために民間事業者との連携を進めてほしい。	1	A
3	地域では担う仕事量が増え、後継者不足に悩む団体が多い。様々なまちづくりを推進・調整する役割が必要と感じていたので、区役所がそういった役割を担うことには賛成であり、積極的に関わってほしい。	5	B
4	区役所単体ではなく、まちづくりに関わっている団体などに積極的に声掛け、共催するなど、充実した取組を推進してほしい。	3	B
5	まちづくりについてのイベントや活動には今まであまり関心を持ったことがなかったので、これから気に掛けていこうと思う。	2	B
6	まちづくりは継続性が重要であることから、担当部署の職員の異動期間など、組織としての担保が必要である。	2	B
7	「地域コミュニティ活性化推進計画」の改定・推進に賛成です。防災や防犯のために地域のつながりは不可欠であり、市民だけではどうにもできないことを調整し、地域コミュニティ活性化の更なる推進に期待している。	2	B
8	「区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算」について、費用対効果が非常に高い事業であるので、これからも続けてほしい。	2	B
9	地域コミュニティを活性化するため、自治会、町内会に加入するメリットを説明できる現実的、魅力的な政策を重要課題として取り組んでほしい。	1	B
10	地域自治組織の育成、支援を更に組織的に進めてほしい。	1	B
11	住民活動の側面支援を担うことが求められており、更に進めてほしい。	1	B

12	地域コミュニティの推進策として、区役所職員と地域住民の定期的な懇談会を開催してほしい。	1	B
13	まちづくりに専門性を持つスペシャリスト的な職員は必要であり、専門知識と行動力を持つ職員を人材育成しなくてはならないと思う。	1	B
14	地域コミュニティを支えて来た地域活動の担い手が減少していく中、市政の第一線である区役所職員の意識変革が欠かせない。	1	B
15	まちづくり活動を行っている各種団体同士だけでなく、まちづくり活動への熱い思いを持った人を、人や団体等に繋げるコーディネートを区役所がもつとして欲しい。個人レベルに対するサポートも期待している。	1	B
16	どんなNPOがあり、何をしているのかといった情報を集約してほしい。	1	B
17	「まちづくりカフェ事業の全区拡大と一層の活性化」は是非進めてほしい。開催日限定ではなく、常設コーナーとすることも検討してほしい。	1	B
18	市民参加の推進と区役所の在り方の改革は、セットであると感じている。市民が主体となる活動を市民に近い行政機関が支え、足りないところ（専門的なことなど）をNPOや、市民活動センターが補完するような仕組みができることを期待している。	1	B
19	郊外の区は、市民活動総合センターへのアクセスも悪いため、右京区のMA CHIKOのような市民活動の拠点を区役所に作ってほしい。	1	B
20	「地域別のビジョン・計画の策定・推進」に賛成であり、区役所が中心となって策定した主な地域別のビジョンが掲載されているが、こうした地域と行政との関わりを把握しておく必要があると思う。	1	B
21	地域の特徴を生かした区域の発展を区民と協議して計画を樹立し、この計画を達成するために、京都市・区役所・地域住民（自治連合会・関係団体等）が一致協力して実施することが必要である。	1	B
22	右京区役所のボランティアで窓口案内をしている方に一生懸命対応していただいた。区役所を身近に感じる良い取組であり、取組が広がってほしい。	1	B
23	まちづくりの企画に実際に参加できる、しようと思う人は一部だと思うので、それ以外の人意見をどう反映するかが難しいと思う。	1	C
24	地域との関わりがなく、寂しく感じている。	1	C
25	各区の市民参加のカフェについて、参加者が高齢者や自営業に偏っている気がしており、保育環境があつたり子供が参加できるイベントが併催されていれば、子育て世代が参加できるように思う。	1	C
26	区役所の「まちづくりアドバイザー」と京都市景観・まちづくりセンターの「まちづくりコーディネーター」、「まちづくりコンサルタント」との違いがよく分からない。	1	C

#### 4 区役所像2「市政をリードする区役所」に係る主な取組（計30件）

No.	御意見の内容	件数	対応
1	「まちづくりと福祉・保健施策の更なる融合」の視点は大切であり、地域力推進室と福祉・保健部署との連携や協働の仕組みづくりが重要である。	5	B
2	企画体制の充実だけでは不十分であり、区民に身近な区役所の体制を質、量ともに一層充実させることが望ましい。	2	B
3	高齢化の進展等に伴い、健康長寿のまちの京都の実現に向けた取組など、高齢者が地域でいつまでも暮らし続けられるよう取り組んでほしい。	2	B
4	地域での様々な課題を解決していくためには、区長が先頭になって区役所内部の縦割りを排除し、職員一丸となって取り組む意識を醸成してほしい。	1	B
5	随時、適正な組織体制を見直していくべきではないか。	1	B
6	コミュニティを支え、きめ細やかなまちづくりを推進するのであれば、現在の地域力推進室の体制を強化してはどうか。	1	B
7	福祉部門や保健部門とまちづくりの融合は重要であり、地域での支援を必要とする方々に第一線で関わっている福祉事務所や保健センターにおいても、地域課題やニーズを十分にキャッチしていく必要がある。	1	B
8	地域の健康づくりを推進するためには、地域の保健委員の力を活用することが効果的であり、区役所がイニシアティブを取って、保健協議会が十分に機能するような体制にすることが必要と思う。	1	B
9	「北部山間地域のまちづくりの推進」は、まず、交流人口を増やして、都心部等から移住につなげるために、積極的に催し等を開催し、魅力を発信する取組を推進してほしい。	1	B
10	北部山間地域の自然の良さや人柄の良さを知ってもらう中で、移住を促進させてほしい。	1	B
11	「北部山間地域のまちづくりの推進」について、左京区北部地域では通信網が出来ておらず、光ファイバーの整備を実現してほしい。	1	B
12	市民の多様なニーズに応えるためには、エコまちステーションのような部門と区役所が連携できる仕組みが必要と思う。	1	B
13	「災害発生時における区局を越えた体制等の整備」について、区役所職員だけで住民を守れるとは思えないので、早く体制を整備してほしい。	1	B
14	天災などが続いている中で、防災の強化など今後期待している。	1	B
15	今後、防災まちづくりを全市展開していくとあるが、防災のまちづくりにおいて、区役所はどのように関わるのかしっかりと打ち出してほしい。	1	B
16	災害時における避難場所など、学生にしっかりと伝えてほしい。	1	B
17	「選挙の投開票事務への本庁等職員のフォローアップ体制の導入等」に賛成であり、選挙事務の継続的かつ安定的な執行体制の構築を期待している。	1	B
18	区役所は、もっと積極的に財源確保を図ってほしい。	1	B
19	ふるさと納税について、用途や実績をホームページで公開するなど、一過性のものとならないよう、積極的に知恵を絞って取組を進めてほしい。	1	B

20	区の選挙事務を効率化させることはもとより、区政の基本事務として地域の方と馴れ親しむことができる。また、新採職員の研修にも位置付けるようなことも考えていくことが必要と思う。	1	B
21	区役所が市政をリードするためには、例えば、区民からの道路修繕や土木工事等の要望など、調整機能にとどまらない権限と予算が必要ではないか。	2	C
22	地域力推進室の係長名称が分かりにくい。区民が名称を聞けば、どんな仕事をしているかある程度想像できるような名称に統一してほしい。	1	C
23	高齢者に対する施策として、区役所職員と地元自治会役員等で各戸訪問の実施をしてはどうか。	1	C

### 5 区役所像3「おもてなしの心あふれる区役所」に係る主な取組（計37件）

No.	御意見の内容	件数	対応
1	区民目線からの意見をいかに拾うかが重要であり、区民の目線に立って知恵を出し、より区民から親しまれる区役所になってほしい。	3	A
2	「京都市オリジナル婚姻届・出生届」について、学生とのコラボで、色、柄ともに、とてもかわいらしくて良いと思う。大々的に宣伝してほしい。	4	B
3	分からないことがある度に区役所に電話で尋ね、丁寧に教えてもらい助かっている。今後も、職員のサービスを向上させ、区民が気軽に立ち寄れる区役所を目指してほしい。	3	B
4	南区役所の建替をお願いします。建て替える時は、区民が使えるスペースを是非お願いします。	3	B
5	前例にとらわれず、改革・創造の意識を持った職員力の向上に努め、いつも市民のことを思って対応してほしい。	2	B
6	まじめに働く者が報われる、組織風土の改善が必要である。	2	B
7	区役所や職員によって対応に差があり、統一化してほしい。	2	B
8	区役所に子どもたちが遊べる場所、スペースの設置、更には子どもたちを預かれる一時保育施設などを設置した区役所にしてほしい。	2	B
9	西京区役所の総合庁舎化の具体的な実施時期を早期に公表してほしい。西京区役所は交通アクセスが悪く、区民が気軽に立ち寄れない。	2	B
10	区役所庁舎は、市民に分かりやすいように工夫されてきている。トイレを改装して綺麗なトイレにすることで、多くの区民に喜ばれると思う。	2	B
11	上京区役所は、新しくなって、入りやすい雰囲気になったと思う。	2	B
12	伏見・左京・上京と庁舎が新しくなり、次は西京と記述があるが、山科はいつ新しくなるのか。早くリニューアルされることを楽しみにしている。	1	B
13	区役所に目安箱の設置や、「困りごと」「お助けできること」を掲載したニュースを発行してほしい。	1	B
14	おもてなしの心あふれる区役所を目指すために、民間の講師等のセミナーを開き、接客やサービスを学習する場を設けてはどうか。	1	B
15	右京区役所は、庁舎が綺麗になり、快適に過ごせるようになった。	1	B

16	「区役所・支所庁舎のリニューアル・リフレッシュ化等の検討」に賛成です。特に、災害時などでは重要な拠点となり得る場所だと思うので、効率的・効果的で計画的なリニューアル・リフレッシュ化に向けた検討をしてほしい。	1	B
17	wifi や休む人のカフェ、観光案内などがあれば、区役所を利用する人が増えるのではないかと思う。	1	B
18	おもてなしの心あふれる区役所を目指すために、通訳者を常駐させてほしい。	1	C
19	「京都市オリジナル婚姻届・出生届」は、区役所に提出して手元に残らないので、証明書などの方がよい。	1	C
20	「京都市オリジナル婚姻届・出生届」は、デザインが華やかで綺麗なのは良いが、カラーインク代の無駄のように思う。	1	C
21	上京区役所の自転車置き場は、自転車を置くレールのようなものがない方が、駐輪可能台数が増えて便利になると思う。	1	C

#### 6 区役所像4「ICT（情報通信技術）等を活用したスマートな区役所」に係る主な取組（計43件）

No.	御意見の内容	件数	対応
1	区役所の役割や取組を知らない人が多く、共有されなければ利用されないとも思うので、区の活動のPRや広報に力を入れてほしい。	11	A
2	各種証明書のコンビニ交付について、早急に取り組んでほしい。	6	A
3	ICTの活用にあたっては、高齢者や外国人、留学生などの全ての方に分かるように、優しいものであってほしい。	5	A
4	区の情報発信には、スマホやアプリを活用してほしい。	4	A
5	待ち時間の短縮や申請事務等をできるだけ区役所へ出向かないで手続きできるようにしてほしい。	3	B
6	各区役所にコンシェルジュや窓口案内の職員を配置し、どこに行っても適切に対応してほしい。	3	B
7	住民票や戸籍、各種証明書の発行だけでなく、取り扱う業務をもっと充実させるなど、生活に密着した対市民向けの総合窓口として、一箇所で相談できることが必要だと思う。	2	B
8	自宅や職場に近い区役所で証明書を発行できるようにしてほしい。	2	B
9	ホームページについて、利用する側からみて、機能的でないと感じる。利用者側の視点に立った分かりやすく、簡潔で、魅力的なものにしてほしい。	2	B
10	端末を持っていない人でも区役所で端末を利用できるようにするなど、ICTを活用して市民の利便性向上に努めてほしい。	2	B
11	証明書発行などの事務的なことは、煩雑な手続ではなくシンプルかつ、身近な駅などでいつでも可能にしてほしい。	1	B

12	ウェブやインターネットで済ませられることは済ませ、効率化で空いた時間を、職員が地域の人たちとのコミュニケーションや京都の区に残る文化を伝えるということに使ってほしい。	1	C
13	パスポート申請や更新を区役所でできれば、便利になると思う。	1	C

## 7 その他、新たな区政創生（案）全般（計68件）

No.	御意見の内容	件数	対応
1	行政側の上からの目線をなくしてほしい。	2	A
2	地域力推進室などに業務の効率化による職員をしっかりと充てるべきであると思う。	5	B
3	区役所と関わることが多いが、本当に良くなってきている。	2	B
4	これからの未来、区役所を支える若い職員が意欲を持っていきいきと働き、雰囲気の良い区役所にしてほしい。	2	B
5	今後の区役所や職員の目標や取組について明確に記載されている。よくまとめられており、非常に読みやすかった。	2	B
6	京都のまちの一員だという意識を持たせることが、まちのつながりを生むために必要ではないかと思う。	2	B
7	総合区制を導入する必要がないという考え方に賛成である。区長を4年任期の特別職にすることに意味があるのか不明であり、また、既に住民自治や区長権限の強化に取り組んでいるのであれば、それを進めるべきである。	2	B
8	区役所職員の意識改革が求められる。	1	B
9	こういった検討をされることは大変良く、住民が本気になりやる気になって取り組めば、声を聞く区役所なっていると実感する。	1	B
10	こういった計画を策定して、行政が頑張ろうとすることは心強い。意欲のある若手は地域にたくさんいるので、そういった人材を活用してほしい。	1	B
11	正直、区役所は存在感が希薄だったが、こういった取組を通じ、改めて区役所の存在の大切さを実感した。	1	B
12	平成24年から設置されている「地域防災係長」は、こういった役割を果たすのか明確にしてほしい。	1	B
13	「エコまちステーション」は応援したいと思っている施策であり、今後とも期待している。	1	B
14	転入届を受理する部署でゴミの出し方、分別方法等の印刷物を渡し、本市の取組姿勢をPRすると同時に、生活上の最低限のマナーを周知してほしい。	1	B
15	福祉部保護課の生活保護ケースワーカーは、弱い立場の人のために誠実に対応してほしい。	1	B
16	醍醐地域のまちづくりに関する意見（環境・観光、自治会・町内会、支所総合庁舎等の活性化等について）	1	B
17	観光客向けにマナーパンフレットを作ると良いのでは。	1	B

18	国際化がどんどん進んでいるので、外国人の意見も積極的に取り入れると良いと思う。	1	B
19	外国人は日本人と比べると、人口のごく小さい一部を占めるだけですが、住民として、区政創生は心から進めたいと思う。	1	B
20	区役所に行ったことがない。区役所のことを知らない。区役所にイメージがない。	1 2	C
21	区域の再編について、見直しを常に検討すべきではないか。	3	C
22	今までできていた税の相談ができなくなって不便になってしまった。税部門の再配置をしてほしい。	2	C
23	単身世帯が多いという状況を踏まえたうえで提案されていることが分かった。	1	C
24	区政を「まちづくり」を主眼に作成されているが、市民からすれば、福祉や健康、子育てなどもっと切実で具体的にに関わりがあり、「京都市におけるまちづくりの在り方」などに変更すべきである。	1	C
25	福祉、健康、子育てなどをおきざりにして、区政の在り方を語るのは考え直すべきである。	1	C
26	日頃からあまり市政に関心のない大多数の市民にとっては、区の名称に特段のこだわりはないと思う。	1	C
27	職員が地域ごとに住人として何年か住んでみると、見えてくる問題や課題があり、説得力が増すと思う。	1	C
28	北区役所は南部に位置しており、北部に支所を作れば、北部住民と区役所との距離が近くなり、北部地域をよく理解できると思う。	1	C
29	隣接する区で一部組織の合併を図ってはどうか。	1	C
30	行政区の様々な課題・要望を市全体で論議するのは無理なことで、総合区制は必要だと思う。	1	C
31	小学校区に一つの地域包括センターを、区が計画して建設してほしい。	1	C
32	公園がない小学校区が京都市は多すぎるので、各小学校区に公園数を一定数整備してほしい。	1	C
33	地下鉄の洛西ニュータウンへの延長が西京区の発展に寄与するので、建設してほしい。	1	C
34	新御堂筋の延長で洛西の活性化を図ってほしい。	1	C
35	洛西ニュータウンの公団、市営住宅の改築のスピードを上げてほしい。	1	C
36	区役所の開庁時間について、土・日曜日や夜間も拡大してほしい。	1	C
37	区役所のホームページに、町内会の年間行事等の掲示を通年で閲覧できるように工夫してほしい。	1	C
38	大量の広報物を市民に配付させているが、本来、広報物は作成者が配付すべきものではないか。	1	C
39	自治会への加入率が低下し、自治会未加入者に対する区政等の広報が行き渡っていないのではないか。	1	C



40	KYOTO Wi-Fi について、利用する度ごとに端末から登録する必要があるようにしてほしい。	1	C
41	京都市の施設（図書館・体育館・文化会館など）は火曜日が休みなので、定休日を分散し、地下鉄を利用してもらい増収を図ってほしい。	1	C
42	環境に配慮しながら、美しいまちを皆で共に作っていくのだという「気付き条例」のようなものができれば良いと思う。	1	C
43	外国人の区政参加を進めるために、中長期在留の外国人に地方参政権を与えてほしい。	1	C
44	京都は交通マナーがあまりに悪い人が多いと感じるので、しっかりと取り締まってほしい。	1	C